

科目名	日常生活活動学（作業療法）	担当教員	山田 恭平 佐藤 拓也 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	------------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	2年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32AD	②、③、④					

科目概要	対象者の日常生活活動（ADL）を評価し、治療等を実践していくための基本的な知識について学習する。評価方法としては、基本姿勢、基本動作、リーチ動作における観察視点、分析視点について学習する。また、FIMやBI等の定量的な評価方法について学習する。
学習目標	① 日常生活活動（ADL）の評価方法、支援方法について理解する。 ② 姿勢、基本動作、活動などの観察視点や分析方法を理解する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	総論	ADLの概念と範囲、ADLの評価	ADL、IADLの概念と範囲について理解する。 ADL評価の目的・方法、ADL遂行に影響する要素について理解する。	
2	総論	ADLの治療・援助	ADL治療・援助の視点、方法について理解する。	
3	活動分析	活動分析（工程分析）	活動分析の視点、重要性について理解する。	
4	活動分析	活動分析（工程分析）	活動分析の視点、重要性について理解する。	
5	姿勢分析	姿勢・動作・活動分析について（基礎）	分析の視点、重要性について理解する。	
6	動作分析	動作分析（リーチ動作、前方、側方）	動作分析の視点、重要性について理解する。	
7	動作分析	動作分析（リーチ動作、後方）	動作分析の視点、重要性について理解する。	
8	動作分析	動作分析（リーチ動作、後方、下方）	動作分析の視点、重要性について理解する。	
9	動作分析	動作分析（リーチ動作、座位バランス）	動作分析の視点、重要性について理解する。	
10	動作分析	動作分析（リーチ動作、まとめ）	動作分析の視点、重要性について理解する。	
11	福祉用具 自助具	福祉用具の範囲について 自助具の目的、選定、製作の留意点など	福祉用具の範囲について理解する。 自助具導入の視点や製作時の留意点について理解する。	
12	補装具	車椅子の適合・選定について1	車椅子の基本的な寸法、対象者の能力や用途に応じた各 부품の選定について理解する。	
13	補装具	車椅子の適合・選定について2	車椅子の基本的な寸法、対象者の能力や用途に応じた各 부품の選定について理解する。	
14	評価様式	ADLの代表的な評価様式について	FIM、Barthel Indexの概要、採点方法について理解する。	

15	評価様式	ADLの代表的な評価様式について	FIM、Barthel Indexの概要、採点方法について理解する。
	評価方法	筆記試験(100%)	
	課題に対するフィードバック	講義、演習を通してフィードバックを行う。 演習中に理解できなかった課題については、個別にオフィスアワーで対応する。	
	教科図書	なし	
	参考図書	齋藤宏 他・著『姿勢と動作 第3版』メヂカルフレンド社、2010年 伊藤利之・著『ADLとその周辺 第3版』医学書院、2015年 日本作業療法士協会・監『作業療法学全書 改訂第3版 日常生活活動』協同医書出版社、2009年など	
	学習の準備	1 作業療法評価学・演習、運動学・演習の内容を復習しておくこと 2 特に、四肢、体幹の筋の起始・停止について復習しておくこと 3 事後学習として、講義内容について資料等を確認し理解を深める 以上、1～3について (180分)	
	オフィスアワー	火曜日と木曜日の16時10分～17時、その他在室時はいつでも可能	
	担当教員欄に※印を附した教員の 実務経験		